



HPCシステムズ株式会社

事業計画及び成長可能性に関する事項

2021年 12月24日

HPCシステムズ株式会社

証券コード：6597（東証マザーズ）



経営理念

人とコンピューティングの力で世界平和に貢献する

ミッション

研究者には研究する力、
開発者には製品を開発する力を提供すること

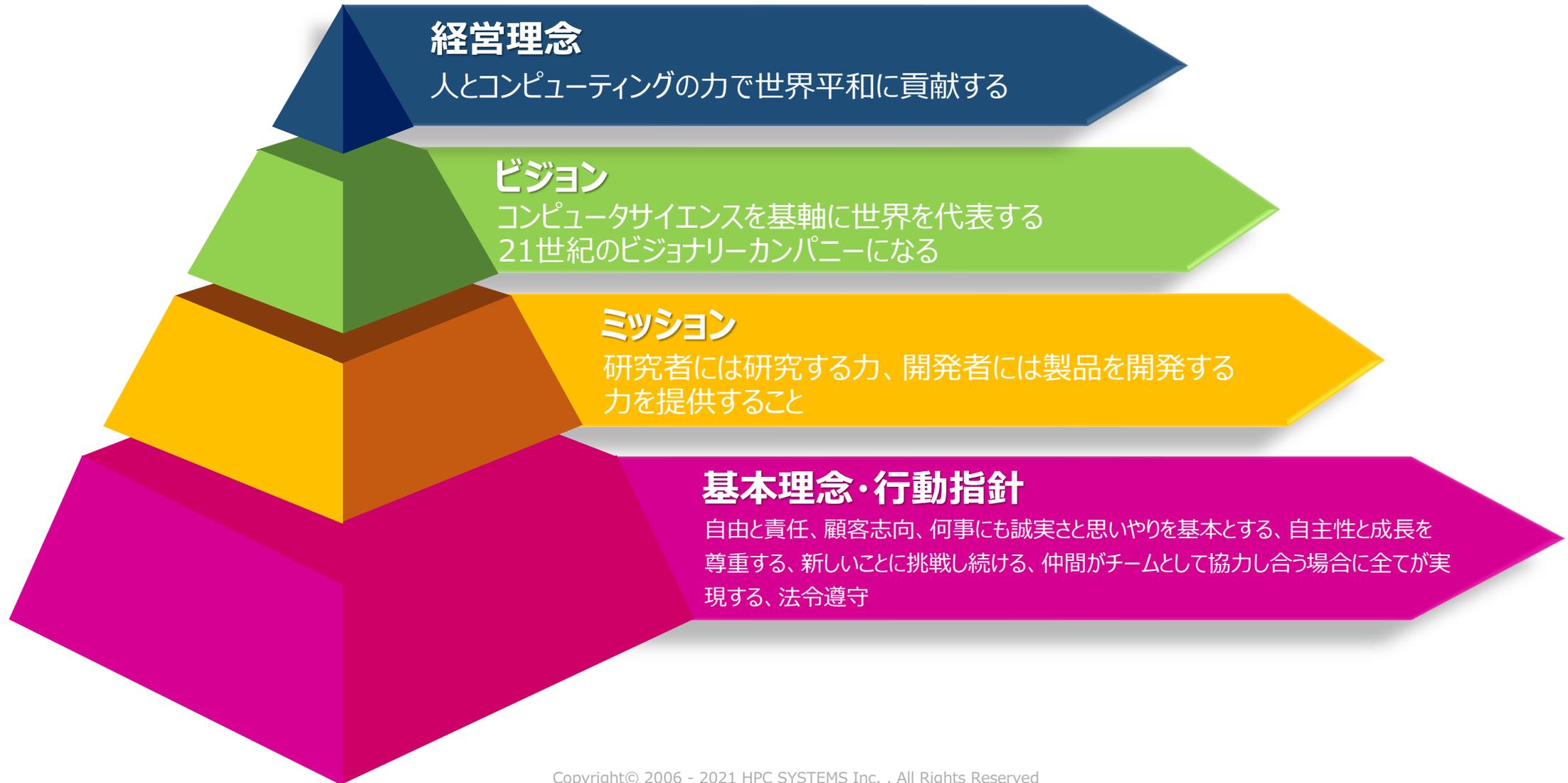
会社名	HPCシステムズ株式会社
本社	東京都港区海岸 3-9-15 Loop-X 8階
設立	2006年7月
資本金※	2億1,967万円
証券市場	東証マザーズ（証券コード：6597）
代表者	代表取締役 小野 鉄平
従業員数※	113名
事業セグメント	HPC事業、CTO事業

開発センター	東京都中央区日本橋本町3-11-5 日本橋ライフサイエンスビルディング2 5F-505号
西日本営業所	京都市下京区烏丸通綾小路下る二帖半敷町646 ダイマルヤ四条烏丸ビル5F-B
名古屋営業所	名古屋市中区錦3-22-24 ATS広小路ビル5階
工場	千葉県匝瑳市野手174-1
海外支店	新北市新店區寶中路92號4F-4, 台湾
海外子会社	Daeha Business Centre, 360 Kim Ma street, Ba Dinh dist, Hanoi, Vietnam

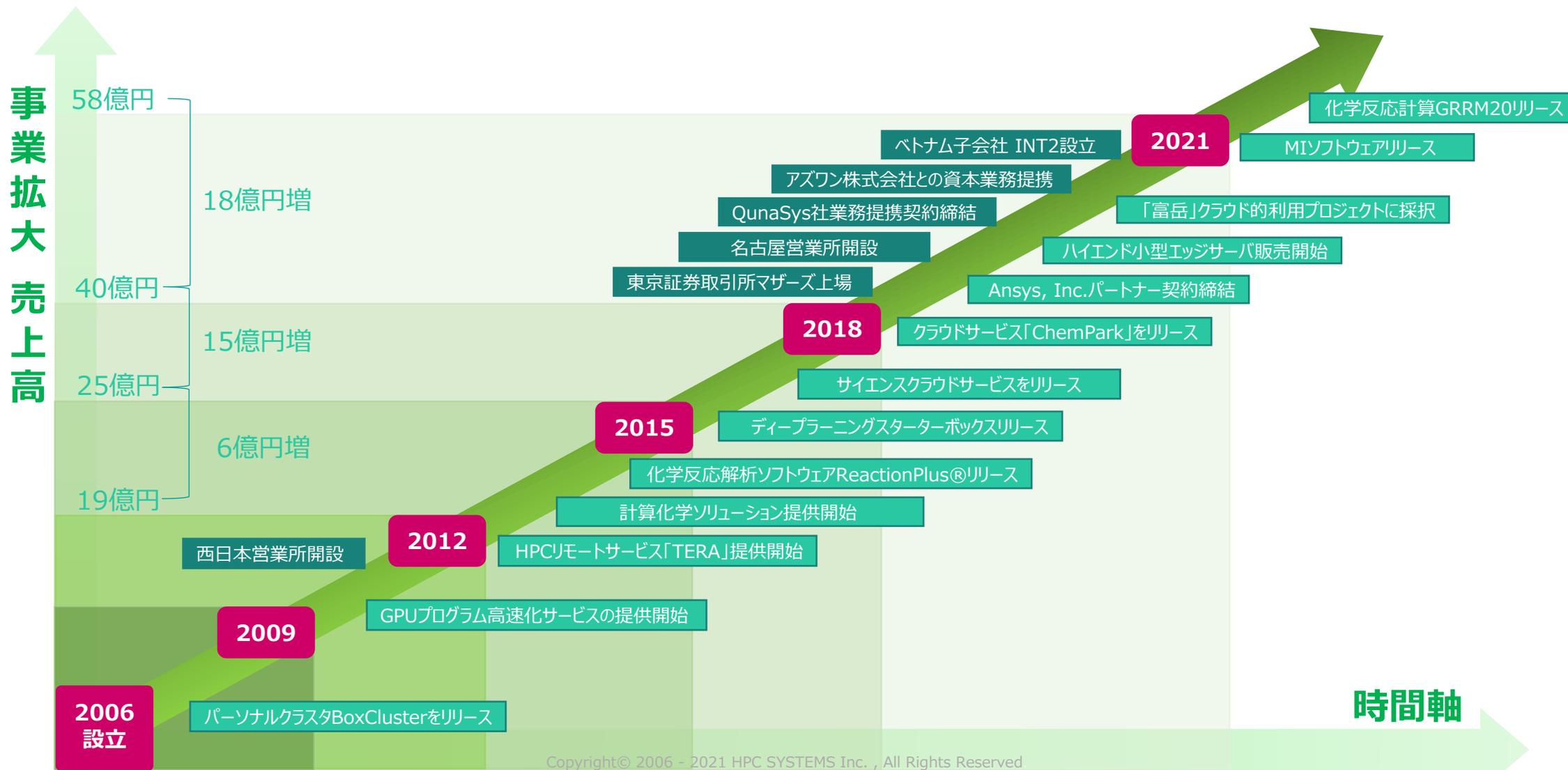
※資本金、従業員数は2021年9月末時点

※従業員数には正社員、契約社員、アルバイト、派遣社員を含む

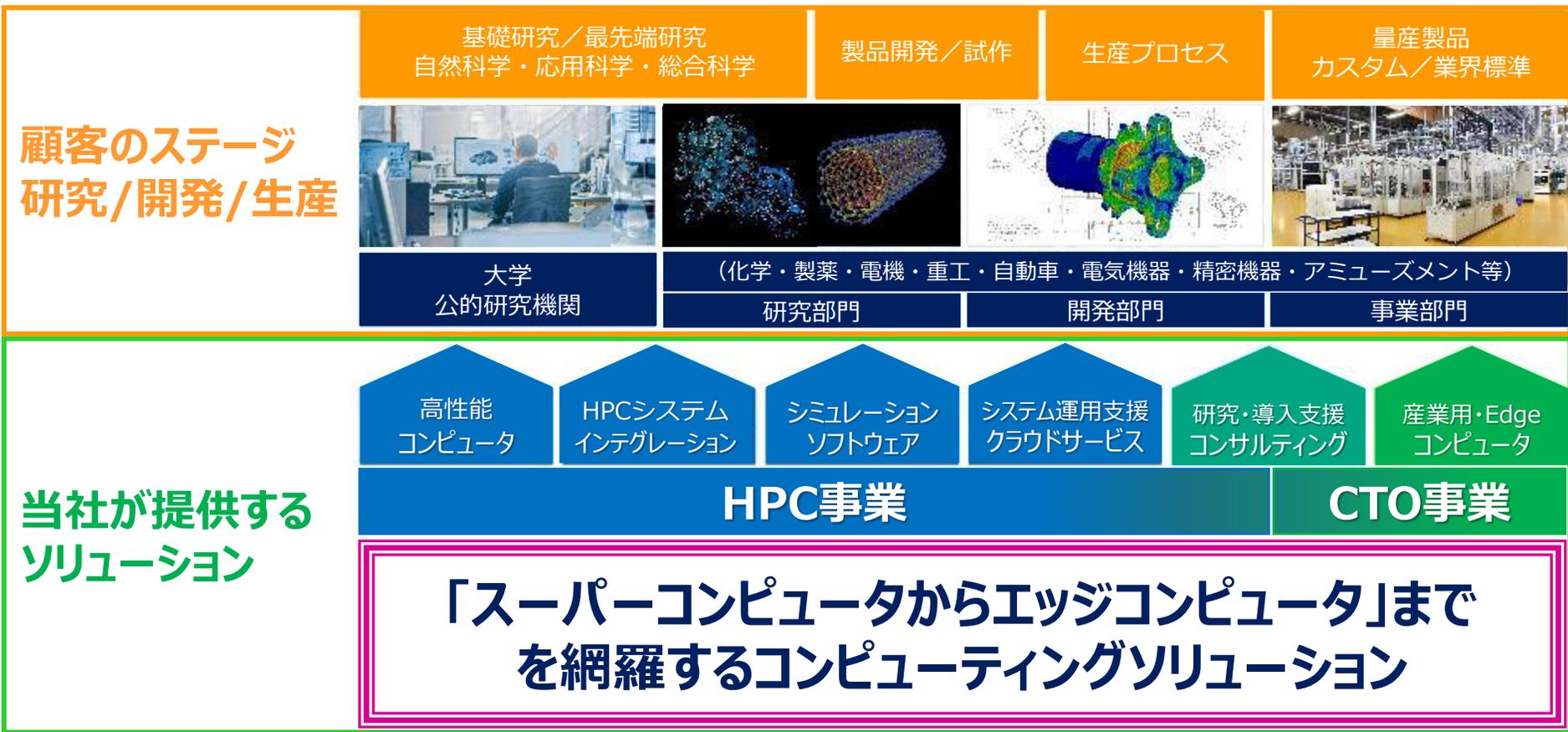
ビジョナリー経営の浸透と追及

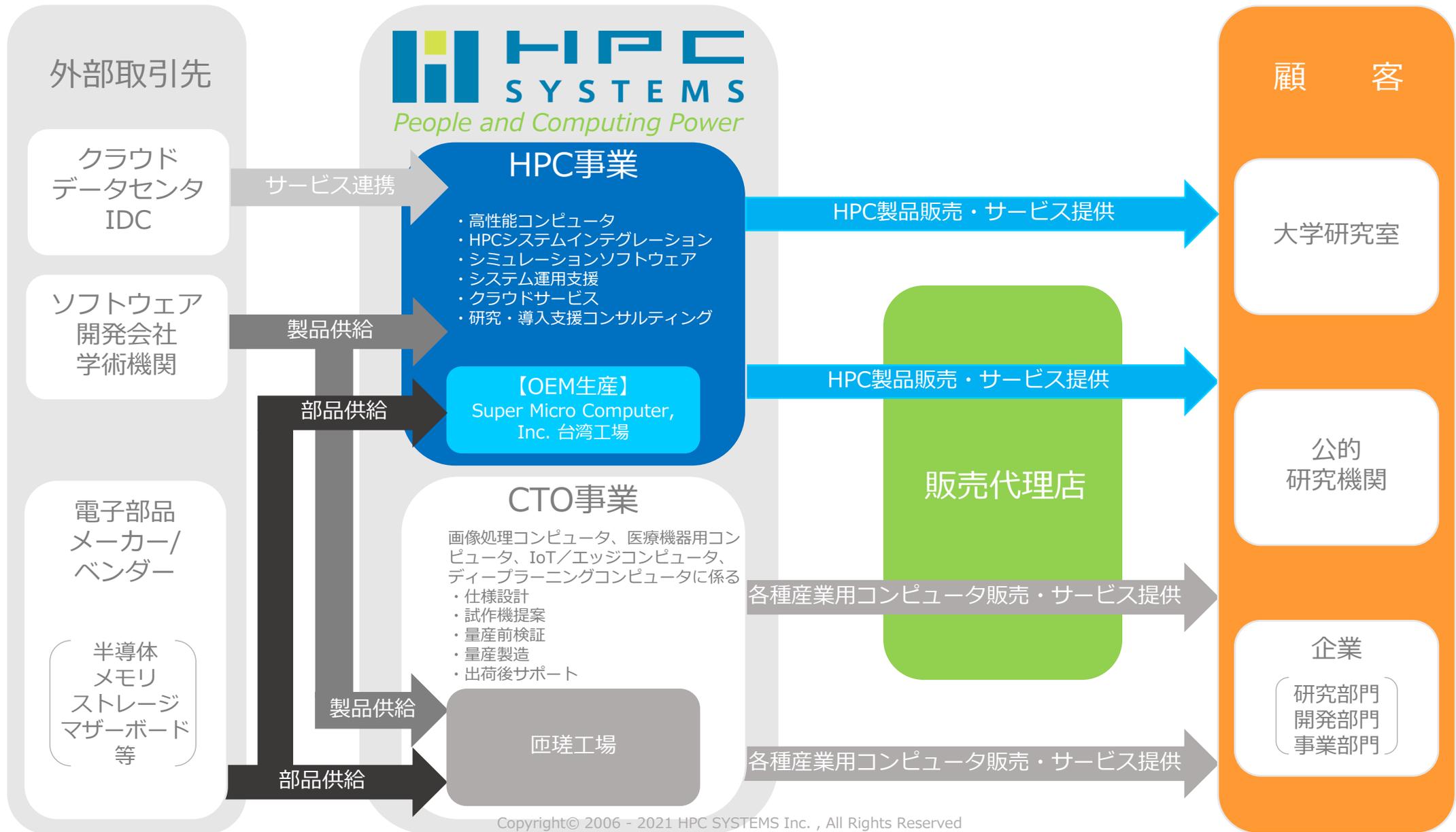


「研究者と開発者の力になる」ソリューションを創造し、その提供により事業を拡大

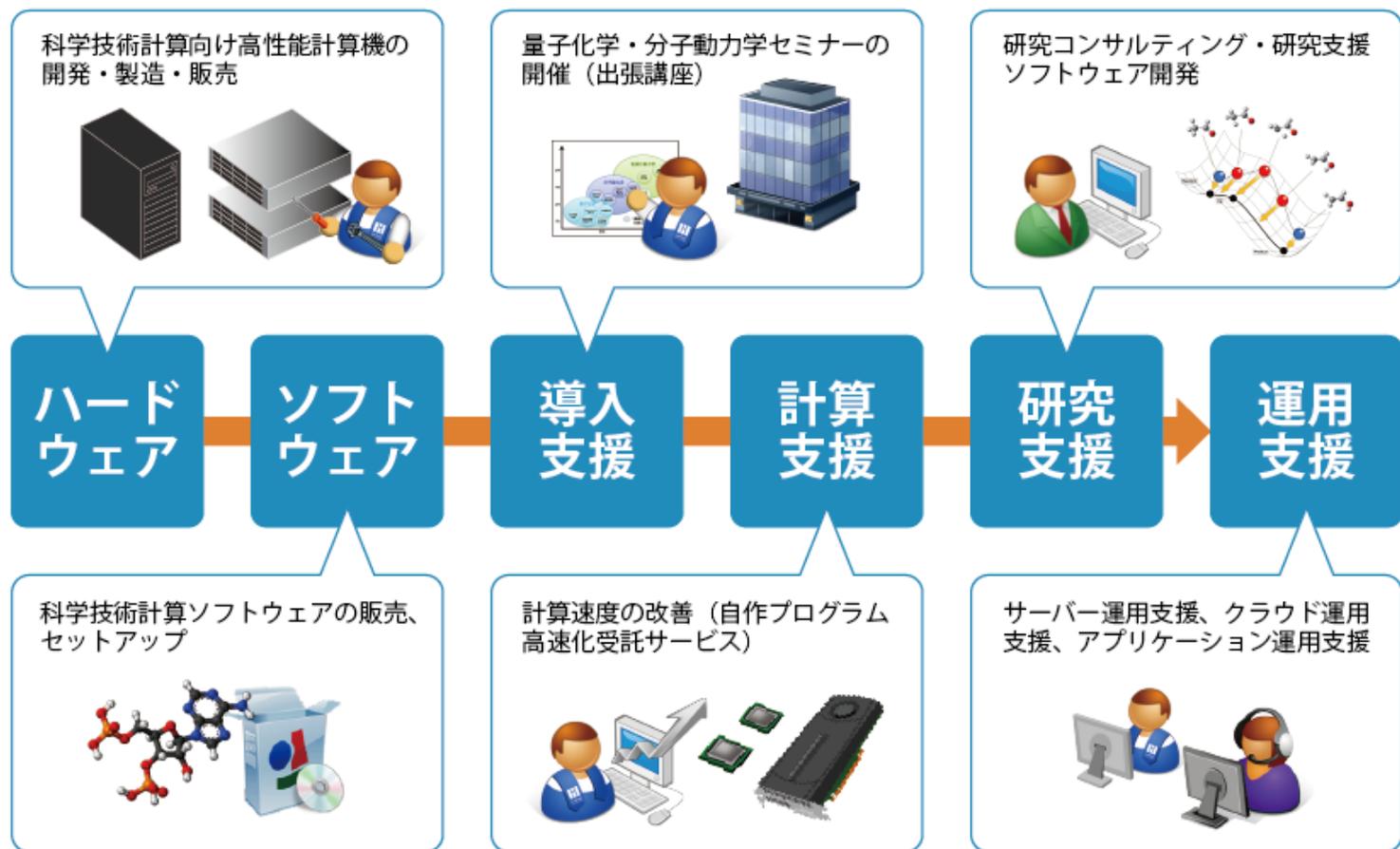


コンピュータサイエンスを駆使して、研究者や開発者の基礎研究、先端研究、製品開発、量産までを多角的に支援するワンストップサービスを提供

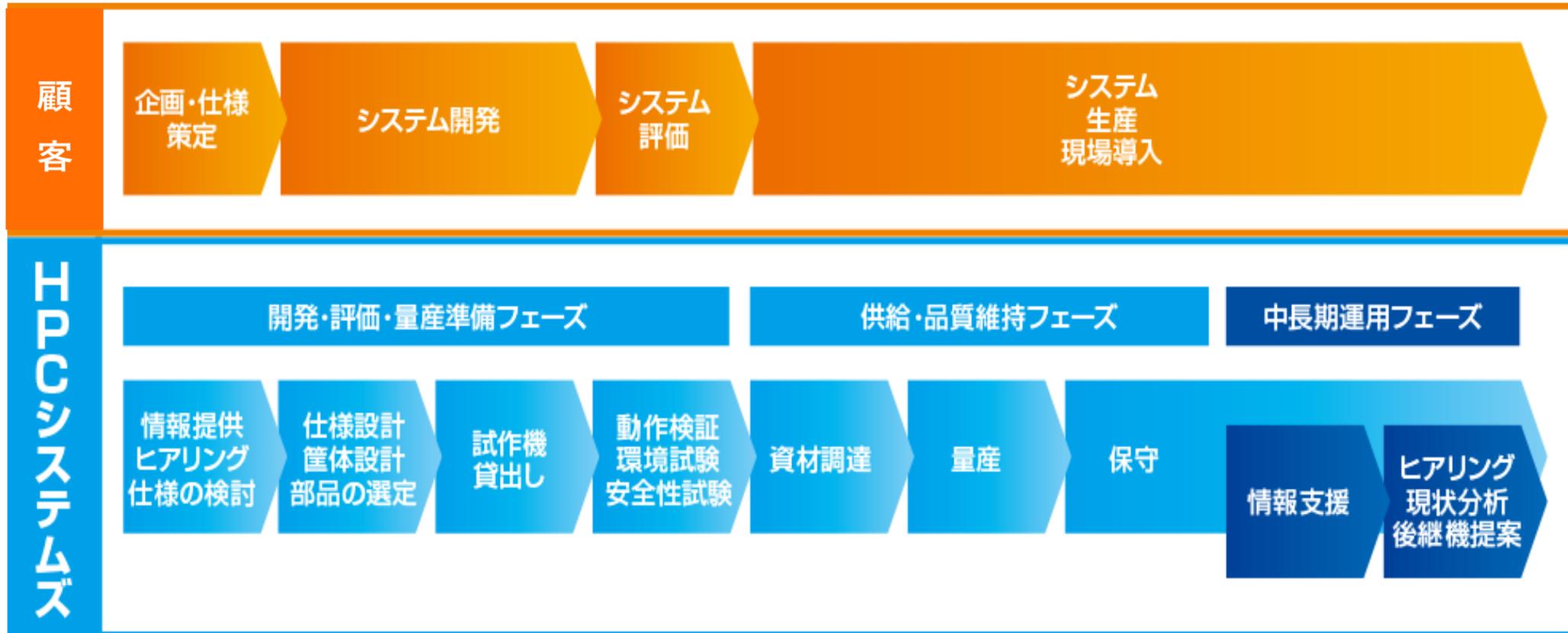




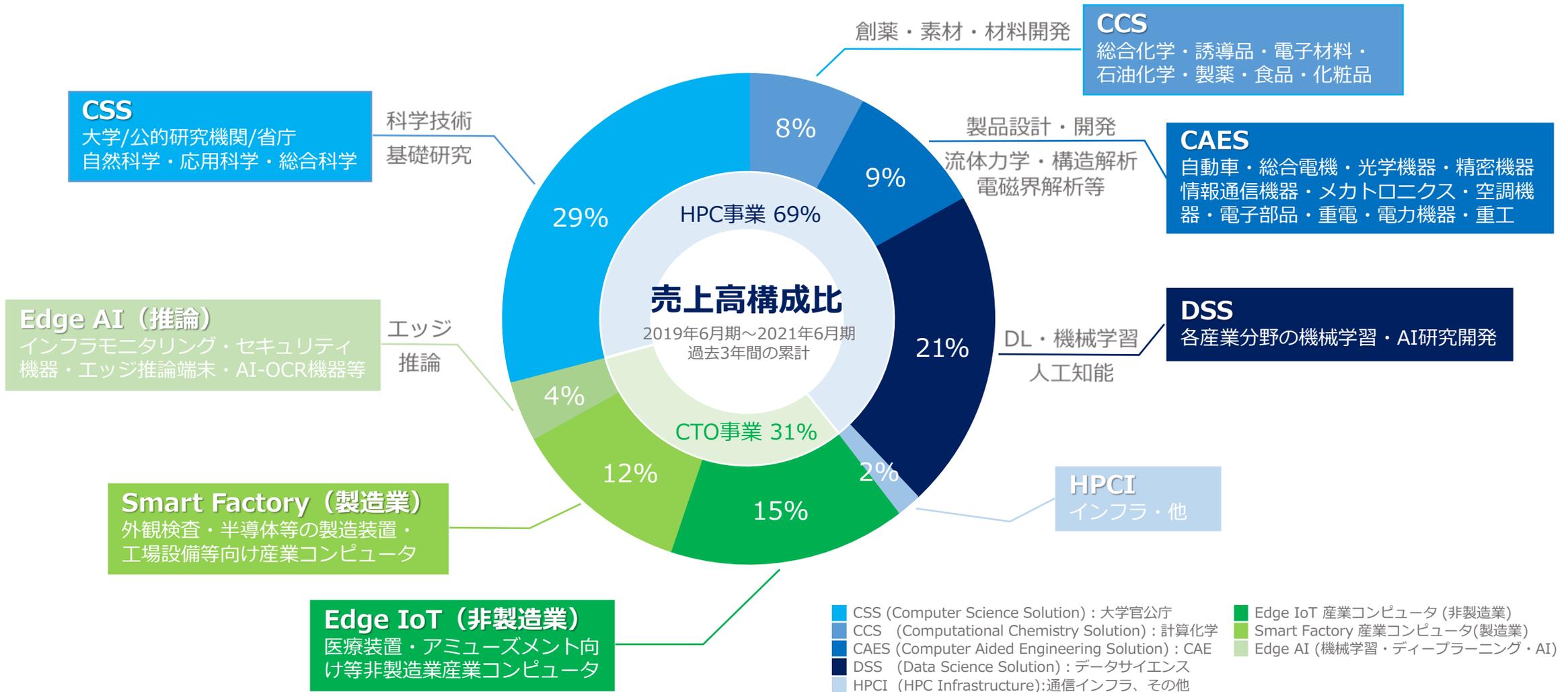
科学技術計算用高性能コンピュータとシミュレーションソフトウェア販売、科学技術計算やディープラーニング（深層学習）環境を構築するシステムインテグレーションサービス、シミュレーションソフトウェアプログラムの並列化・高速化サービス、計算化学ソフトウェア、マテリアルズ・インフォマティクスのプログラム開発・販売、受託計算サービス・科学技術研究開発支援、創薬研究開発や素材・材料研究開発分野向けサイエンスクラウドサービスをワンストップで提供



顧客の用途、課題をヒアリングしながら、価格・性能・品質・高低温・防塵・防水・静電対策・過酷な環境に対する高耐久性など多種多様の対応が求められる、工場生産設備・製造装置・検査装置、制御機器や交通インフラ、自動運転、リテール店舗などのコントローラーとしての産業用コンピュータやエッジコンピュータの仕様提案から開発、生産、保守サポート、長期安定供給を実現



バランスの取れた広範な産業分野、大学、公的研究機関、省庁の顧客基盤



市場環境：市場規模（CTO事業）

市場成長ポテンシャル2021年 1,870億円 ⇒ 2024年 2,570億円 CAGR 11.1%*

Compatibility
AIを確実に実行する製品開発
Edge AI 分野

Connectivity
ネットワークやデバイスとの確実な接続
Edge IoT 分野

CTO事業が展開する
市場・産業分野

用途・アプリケーション

産業用コンピュータ
Edge製品・サービス

売上高 2021年 18億円 ⇒ 2024年 30億円
CAGR 17.0%

市場成長より高い成長率を目標

Smart Factory 分野

課題を解決する製品提案で継続顧客を増加

Communication

Copyright© 2006 - 2021 HPC SYSTEMS Inc. , All Rights Reserved



交通



エンタテインメント



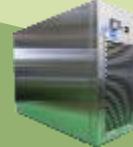
セキュリティ

顔認証システム

交通監視システム



アミューズメント機器



画像診断装置

医療・ヘルスケア



農業・畜産

AI OCR機器

スマート農業機械



売上高 2021年 18億円 ⇒ 2024年 30億円
CAGR 17.0%

市場成長より高い成長率を目標



画像診断装置

医療・ヘルスケア



デジタルサイネージ

RFID管理システム

小売・広告



物流

無人自動搬送機

半導体製造・検査装置

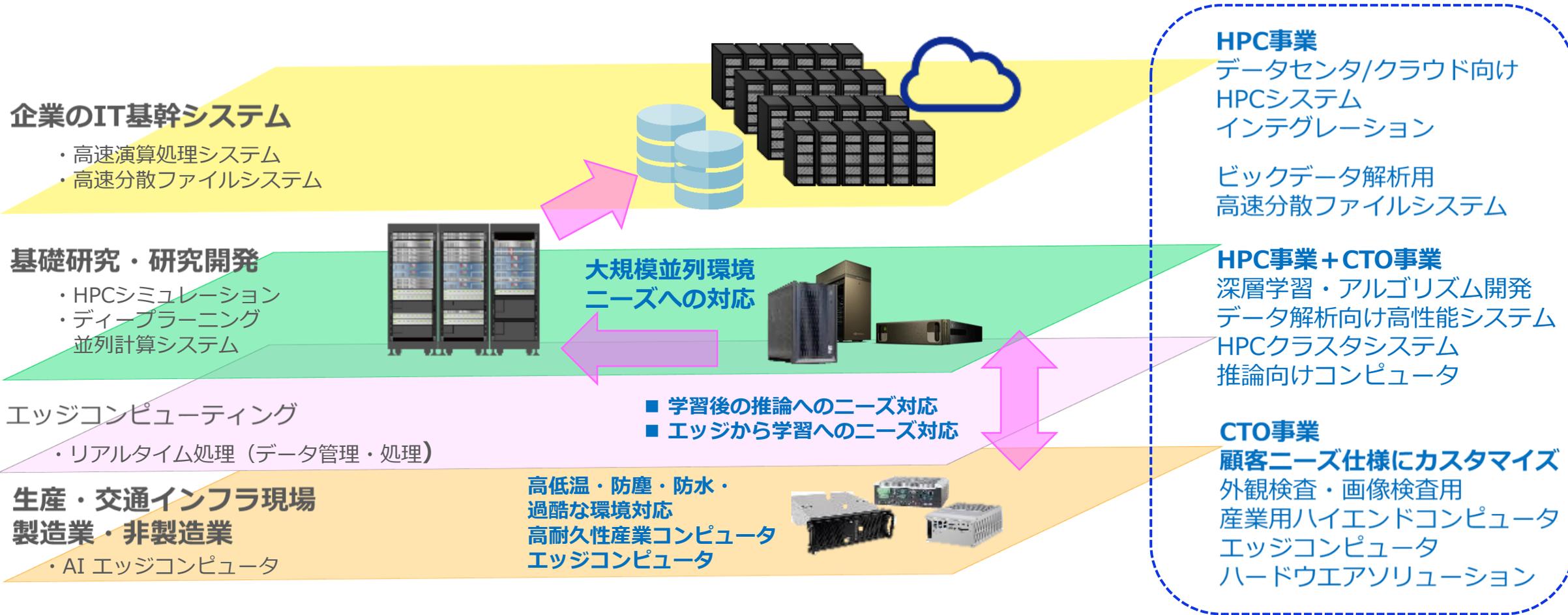
画像検査装置

製造・検査



*デロイト トーマツ ミック経済研究所、富士キメラ総研などの複数第三者機関の市場調査数値から、CTO事業が展開している領域における国内市場規模の推移を算出

「スーパーコンピュータからエッジコンピュータ」までを網羅する コンピューティングソリューションを提供



市場環境：競合環境（金額規模別）

金額規模	タイプ	ターゲット	要求内容（ニーズ）
数億円～数百億円	スーパーコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> 大手メーカー基礎研究・開発センター 通信会社、金融機関 公的研究機関 研究機構、研究センター 大学情報基盤センター 	<ul style="list-style-type: none"> 国策プロジェクト 多様なユーザーと大規模アプリケーションの対応 独自のハイパフォーマンスコンピューティングミドルウェア 商用アプリケーションの複合利用 超並列アプリケーションでの高い実効性能を実現 万全な保守体制（24時間/休日オンサイト/サポート人員がサーバー室に常駐）
数千万円～数億円	大規模HPC-AIクラスタ +ファイルシステム	<ul style="list-style-type: none"> 大手メーカー基礎研究・開発センター 大手メーカー事業部門、開発本部 公的研究機関研究所 研究機構、研究センター 大学情報基盤センター 	<ul style="list-style-type: none"> フルカスタマイズHPC SI + 運用支援 高速パラレルファイルシステム 商用アプリケーションの複合利用 自社設置マシンと外部リソース（HPCクラウド）を複合利用 導入/運用支援 オンサイト保守
数百万円～数千万円	中規模HPC-AIクラスタ	<ul style="list-style-type: none"> 大手メーカー部門規模 大学/公的研究機関の研究室 	<ul style="list-style-type: none"> カスタマイズHPC SI 商用アプリケーションの複合利用 導入/運用支援 センドバック/オンサイト保守
～数百万円	小規模HPC-AIクラスタ～ 単体ワークステーション	<ul style="list-style-type: none"> 大手メーカーグループ・課規模 大学/公的研究機関の研究室 	<ul style="list-style-type: none"> 標準化BTO、ハードウェアだけ、簡単なSI 商用と自作アプリケーションの単体利用 センドバック保守

HPC事業の垂直統合型ワンストップビジネスモデルによる ニッチトップを確立

	HPC SYSTEMS	競合企業						
		A社	B社	C社	D社	E社	F社(海外)	G社
計算化学コンサルティング ➢ 受託計算・計算支援・研究支援	✓						✓	✓
計算化学・流体構造解析アプリケーション ➢ 計算化学ソフトウェアの研究開発・販売 ➢ オープンソース、コマースソフトウェアの提供	✓				✓		✓	
Software as a Service クラウドサービス ➢ 計算化学シミュレーションソフトウェアのクラウドサービス提供	✓							
クラウドサービス(化学分野に特化) ➢ クラウドインテグレーションサービス	✓			✓	✓	✓		
ソフトウェアビルド・並列化・高速化サービス ➢ シミュレーションソフトウェアのチューニング ➢ シミュレーションソフトウェアのビルド	✓		✓		✓			
HPC/AIシステムインテグレーション ➢ 高性能システムインテグレーション	✓		✓	✓	✓			
高性能HPC/AIコンピュータ ➢ 高性能ハードウェアの販売	✓	✓			✓			

当社ビジネスの好循環サイクルによる強み

大学官公庁・顧客基盤 01

幅広い学術分野での実績
と長期的な信頼を構築

民間企業・顧客基盤 02

最先端研究開発における幅広い
大手製造業を中心とした企業顧客基盤

実績と信頼 06

自動車、素材/加工/エネルギー、化学、
医薬品/食品、電気/機械/精密機器の
大手製造業、情報/サービス、大学・
研究機関・官庁の幅広い業種への導入
実績

最先端ニーズ課題 03

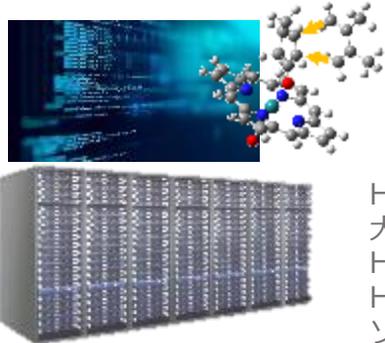
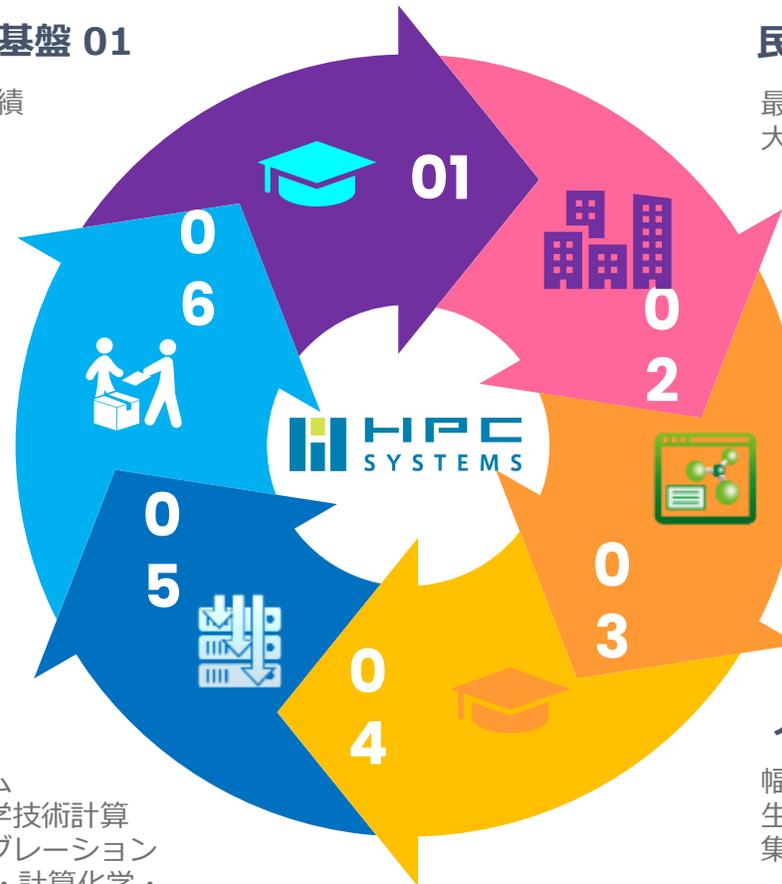
最先端テクノロジーへの早期アクセス、
環境変化によって顧客が求められる
最先端のニーズや課題への早期アクセス

基盤技術 05

HPCプラットフォーム
大規模・高精度な科学技術計算
HPCシステムインテグレーション
HPC/HPDAシステム・計算化学・
ソフトウェア・CTOサービス、
サイエンスクラウドサービス

人財 04

幅広い専門分野を融合させて価値を
生み出す経験と多様性に富んだ技術
集団と顧客志向の営業力



学術から企業の最先端研究開発に及ぶ幅広い分野の顧客基盤

大学・官公庁

公的研究機関



大学

化学・材料分野



FUJIFILM



製薬・化粧品・食品分野



通信・インターネット分野

民間企業

自動車分野



電子・電機・家電分野



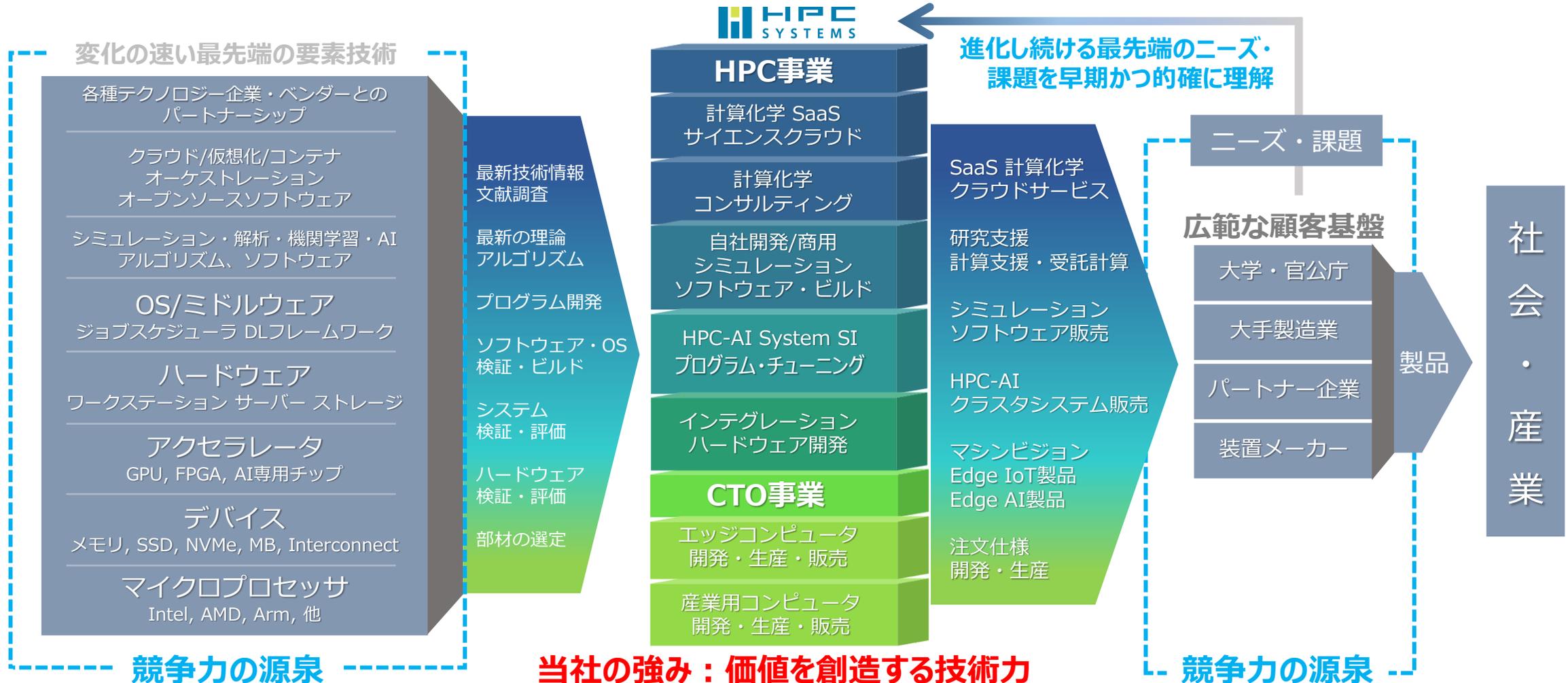
重工業分野



建設分野

競争力の源泉：経営資源・競争優位性

最先端の要素技術と社会や産業変化、ニーズ・課題を的確に捉える力
それらを組み合わせて新しいコンピューティングソリューションを創出し続ける技術力



当社の強み：価値を創造する技術力

最先端研究・技術開発を支える幅広い専門分野の技術者集団

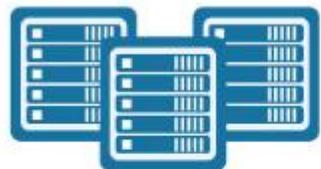
当社は科学技術計算(High Performance Computing)の技術に加えて、幅広い専門分野を融合させて価値を生み出すことに長けている多様性に富んだ技術集団に強み

経験と多様性に富んだ技術者集団



博士	工学研究科	(専門分野：理論化学)
博士	理学研究科	(専門分野：化学)
博士	理学研究科	(専門分野：有機合成)
博士	人間情報学研究科	(専門分野：物理・分子分布)
博士	システム工学研究科	(専門分野：有機合成・物理化学)
博士	環境情報学府	(専門分野：流体シミュレーション)
博士	情報科学	(専門分野：データマイニング)
博士	情報システム学研究科	(専門分野：並列化プログラム)
博士	理学系研究科	(専門分野：物理学)
博士	医学研究科	
修士	情報理工学研究科	(専門分野：計算科学)
修士	理学研究科	(専門分野：化学・機械学習)
修士	理学研究科	(専門分野：物理、深層学習)
修士	物質創成科学科	(専門分野：物質創成)
修士	工学研究科	(専門分野：情報科学・深層学習)
修士	理学研究科	(専門分野：化学)

最先端研究・技術開発を支える当社の提供する基盤技術



HPC

System as a Service

- ・HPCシステムインテグレーションサービス
- ・HPC・CAE・DL/AI・HPDAシステム
- ・CTO (Edge/産業用コンピュータ) サービス

クラウド



Science as a Cloud

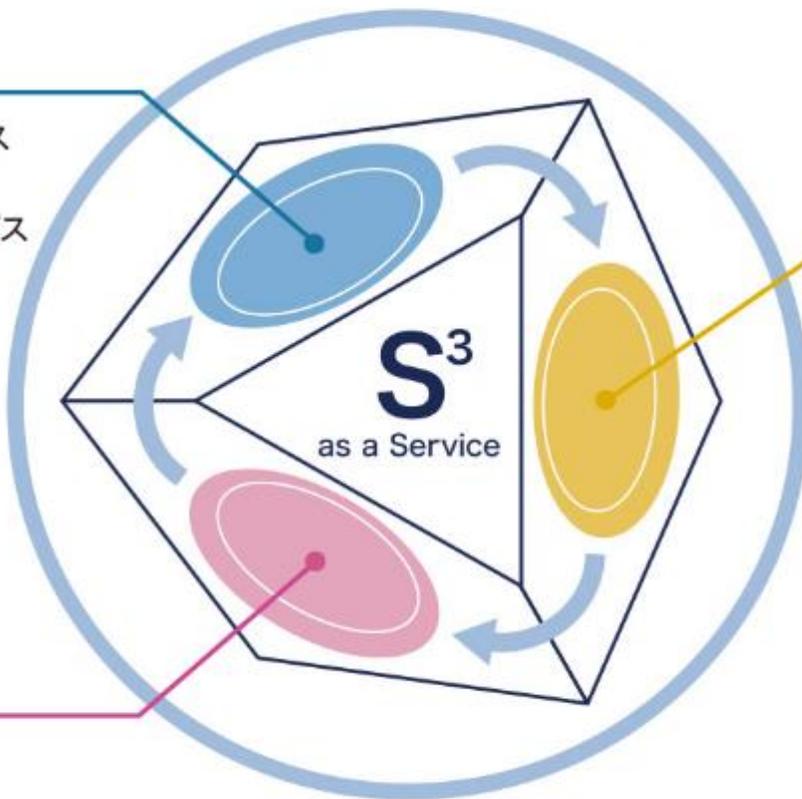
- ・SaaS サイエンスクラウドサービス
- ・ChemPark・TERA サービス
- ・HPCクラウド基盤設計・インテグレーション

化学



Science as a Service

- ・計算化学ソフトウェア開発・販売
- ・計算科学アプリケーションビルド
高速化/並列化サービス
- ・アルゴリズム・ソフトウェア開発
- ・計算化学コンサルティング
- ・計算支援・受託計算サービス
- ・研究開発支援サービス





HPCシステムズ株式会社

中期経営計画 Vision2024

スーパーコンピュータからエッジコンピュータまでのコンピュータサイエンスを駆使したソリューションを提供し、顧客の学術基礎研究から産業界の先端研究開発を加速支援する国内ニッチトップ企業としてポジションを確立

売上高100億円、営業利益12.8億円への挑戦



I.1

HPC事業戦略

HPC-AIソリューションの提供を通して
多角的にお客様の研究開発や解析業務を加速支援

HPC-AI
プラットフォーム

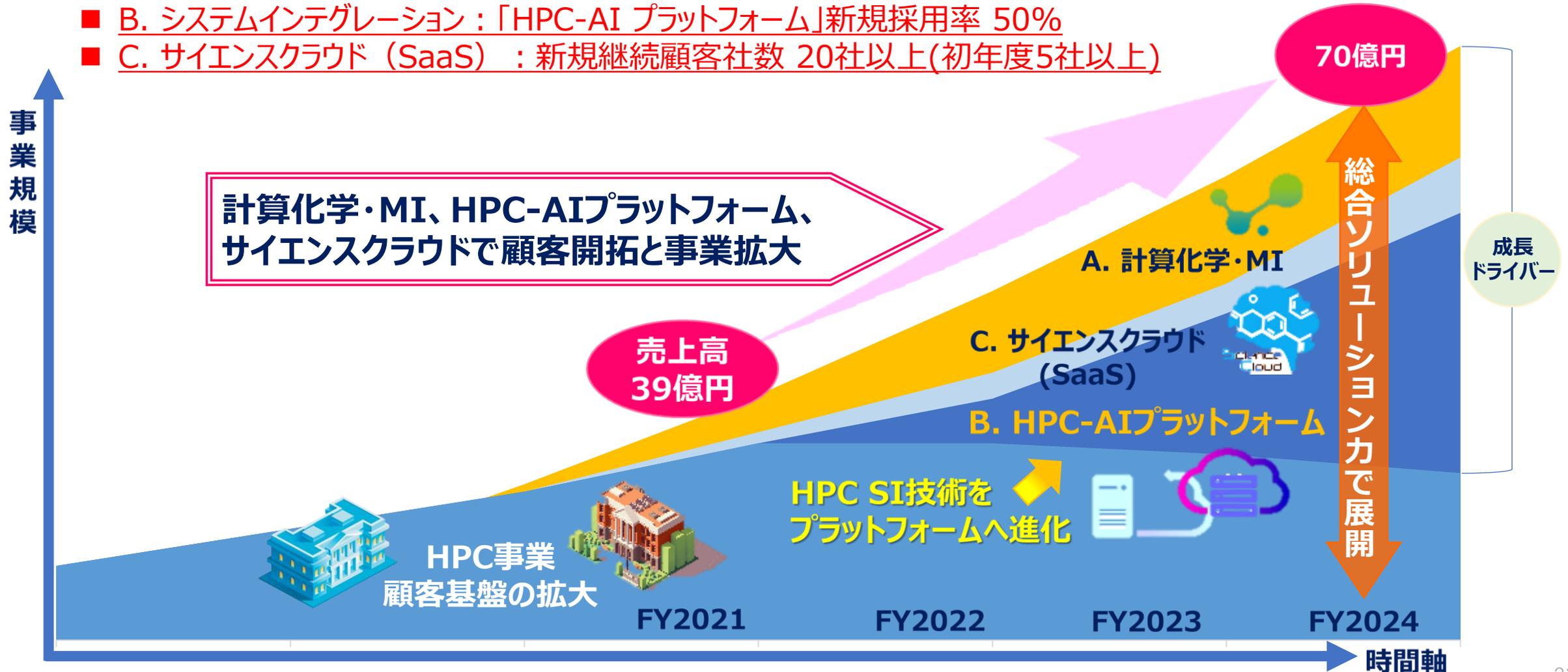
サイエンス
クラウド

基盤技術
コンピュータ
サイエンス

計算化学
MI

コンピュータサイエンスで科学技術を支えるプラットフォーム

- A. 計算化学・MI : 2021年6月期の売上高4億円を2024年6月期に売上高10億円
- B. システムインテグレーション : 「HPC-AI プラットフォーム」新規採用率 50%
- C. サイエンスクラウド (SaaS) : 新規継続顧客社数 20社以上(初年度5社以上)



いつでも、どこでも、誰でも、使いやすい計算環境を提供することで、
スーパーコンピューティングと人工知能(HPC-AI)の裾野を拡大

A. 計算化学・マテリアルズインフォマティクス (MI) の実用化

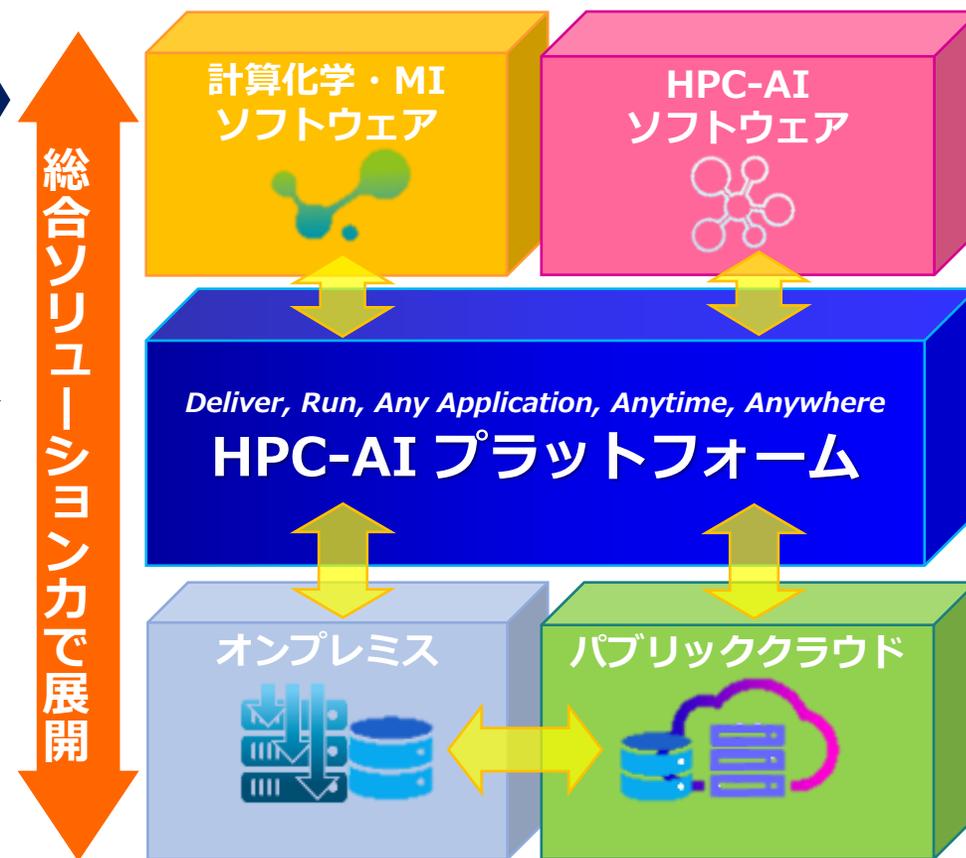
- 自社開発ソフトウェアをより高機能でより使いやすく進化
- 産学官連携による計算化学、MIの普及促進

B. HPCシステムインテグレーションの標準化

- 研究開発者誰もが利用できる「HPC-AI プラットフォーム」を開発
- 技術を高水準に保ち最先端技術への対応を持続

C. サイエンスクラウドの多様化

- 化学シミュレーションソフトウェアの種類を拡充
- オンプレミス、パブリッククラウドと接続
- 接続する全てのクラウドへ「HPC-AI プラットフォーム」を適用



【KPI】 2021年6月期の売上高4億円を2024年6月期に売上高10億円へ

計算化学とマテリアルズ・インフォマティクス(MI)の国産ソフトウェアを開発、提供することで日本産業界の競争力の向上に寄与

計算化学・MIの開発推進

- 自社開発力を基盤に、計算化学・MIソフトウェアの機能追加と使い易さを追求
- 各学術研究機関との協働、ソフトウェア開発の促進

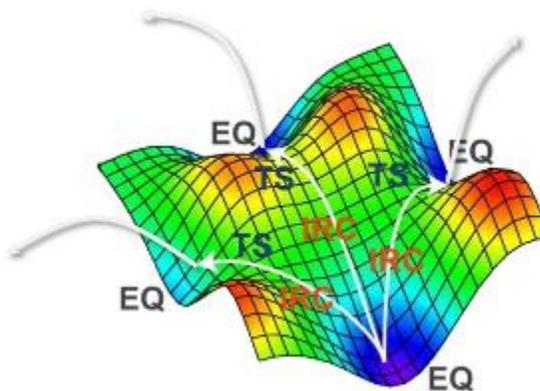
ビジネスモデルの構築強化

- ライセンシングビジネスモデルの強化
- MIのサービス構築
- 計算化学技術基盤体制の強化
- 知財化投資

世界標準に向けて海外へ展開

- 世界標準ソフトウェアとして欧米へマーケティング開始

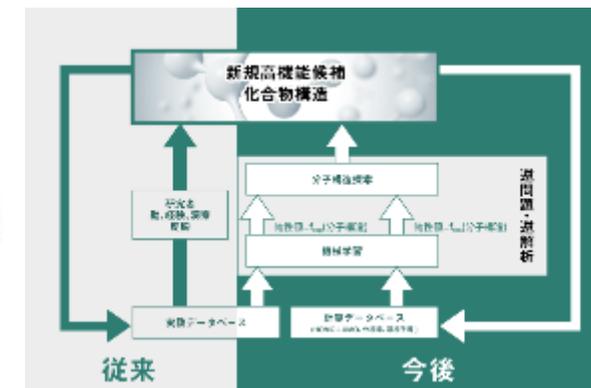
GRRM世界標準化への戦略



未知の化学反応を発見し
革新的な物質や材料を創出する

計算資源（コンピューティング）の性能が革新的な物質
や材料の発見を加速する

AI技術×計算化学技術の融合 による材料開発を加速



情報科学を通じて
革新的な物質や材料を探索する

【KPI】 HPC-AI プラットフォームの新規採用率を50%へ拡大

ヘテロジニアスなハードウェア環境と多様化するソフトウェアをHPC-AIプラットフォームで統合

各成長戦略分野へ顧客密着の市場展開

- 計算科学（公的研究機関・大学） 計算化学（化学/材料開発） AI（人工知能開発） CAE（もの作り）の各成長戦略分野ごとに異なる複雑な計算環境への対応力強化

HPC-SI技術をプラットフォームへ進化

- 世界標準となるHPC-AIプラットフォームの開発（HPCシステムとAIシステムの統合環境）
- フルカスタムSIへ先端技術の継続的な実装

HPC-AIプラットフォームの開発を加速

- ヘテロジニアス・コンピューティング環境の開発
- 世界の先端情報処理技術への適用力の強化
- 非ノイマン型次世代コンピュータの基礎研究と適用

計算科学
基礎研究領域
CSS

化学・材料
創薬開発領域
CCS

人工知能
研究開発領域
DSS

もの作り
研究開発領域
CAES

HPC-AI プラットフォーム

自社中核技術である
高度なHPCシステムインテグレーション技術と
シミュレーションソフトウェア実装技術の融合



技術革新を支える次世代コンピュータの展開方向

【KPI】 新規継続顧客社数：20社以上（初年度5社以上）

オンプレミスで培った独自技術をサイエンスクラウドサービスへ展開し、顧客の研究開発を加速

研究者のプラットフォームを構築

- 開発したプログラムをユーザー間で共有可能
- 使いたいプログラムを簡単にオンプレミスやパブリッククラウドで使用可能

技術基盤の強化

- HPC-AIプラットフォームのマルチクラウド対応
- 自動スケーリング機能を強化
- 富岳スーパーコンピュータ計算資源との連成

新たな可能性を拡充・創出

- 計算化学（SaaS）基盤構築を進め収益の柱に育成
- 大手クラウドベンダーと連携してサービスモデルを拡充
- 富岳スーパーコンピュータで実用的なアウトプットを創出

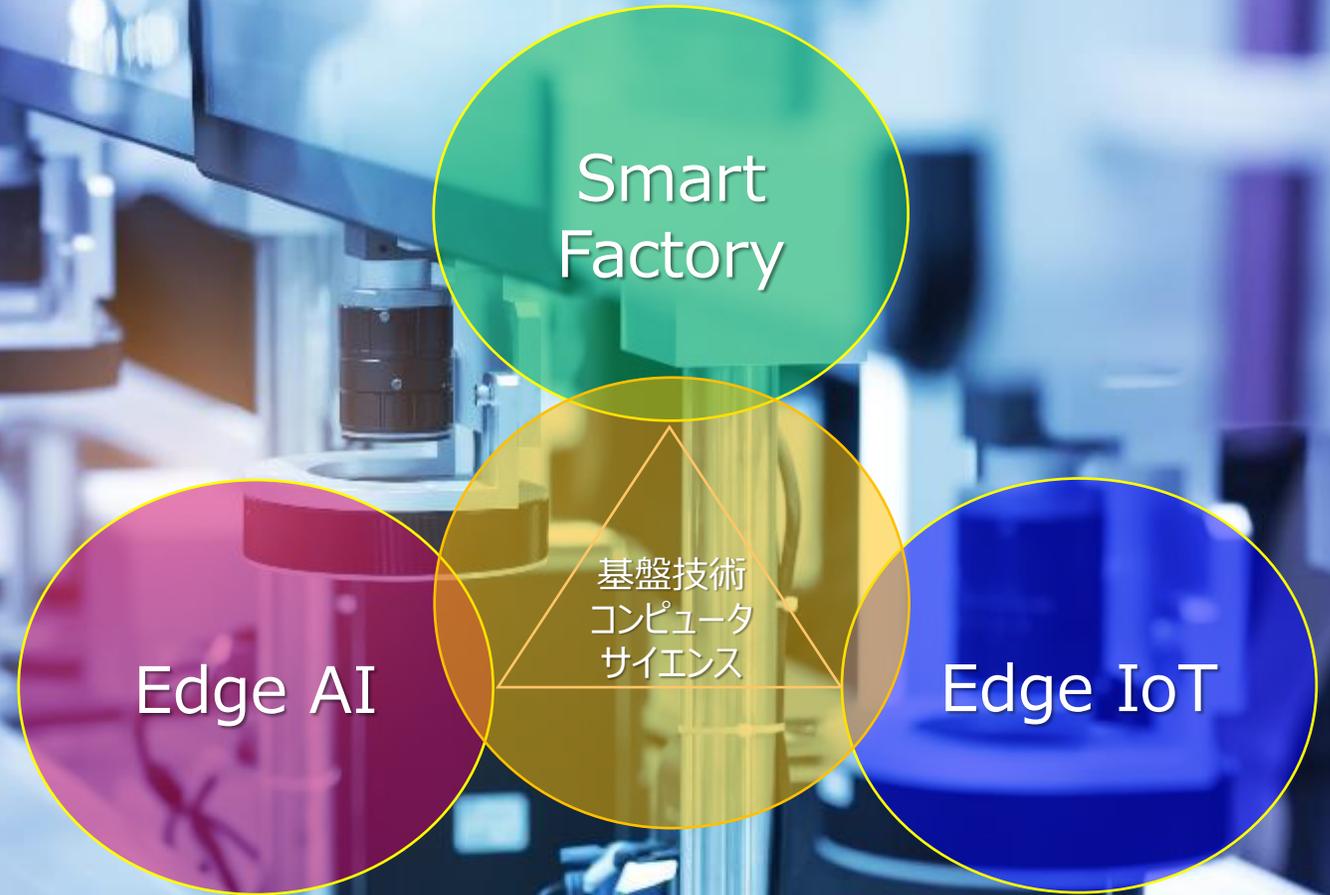


※ HPC-AI P: HPC-AIプラットフォームの略

I.2

CTO事業戦略

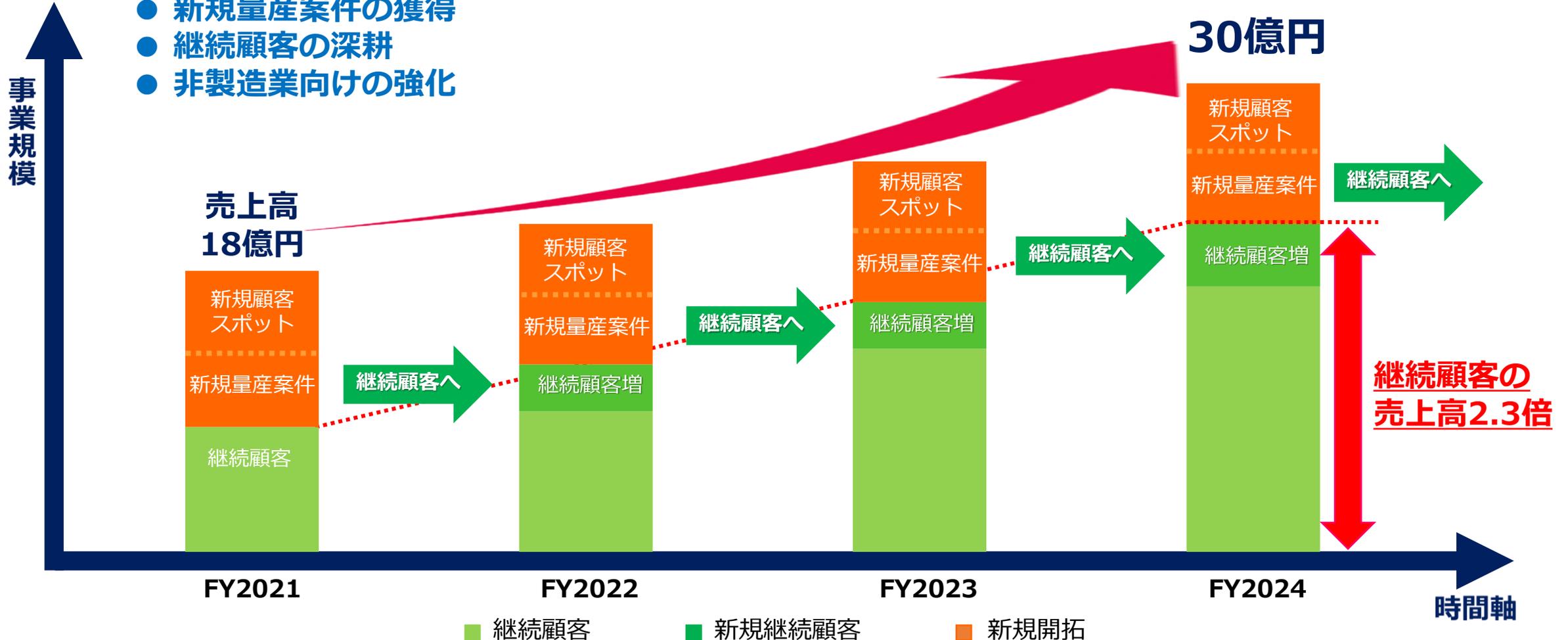
Smart Factory・Edge IoT・Edge AI
製品&サービスの提供を通して
多角的にお客様の製品開発、量産を加速支援



【KPI】 2024年6月期に継続顧客の売上高を2.3倍

長期供給型CTOソリューションによる強固な収益基盤の構築

- 新規量産案件の獲得
- 継続顧客の深耕
- 非製造業向けの強化



高度化する市場ニーズに対して、コンピュータサイエンスを駆使した長期供給型CTOソリューションを提供し、収益基盤を強化

原動力

A. 独自の組み合わせ技術の強化

- 安定成長を見込む製造業向け産業用コンピュータや高成長が期待される非製造業向けエッジコンピューティング、AI分野に求められる技術やデバイスを駆使し、顧客ニーズに最適化したCTOソリューションを提供
- 装置メーカー、サービスプロバイダでの量産採用により、継続的な顧客・収益基盤を獲得・拡大

事業基盤

B. 基盤強化と業務プロセス改革

- 顧客ニーズの変化や多品種変量生産に対応し、生産性と高品質を両立する、柔軟かつ強靱な事業基盤の強化
- 継続顧客の満足度向上、深耕による収益基盤強化

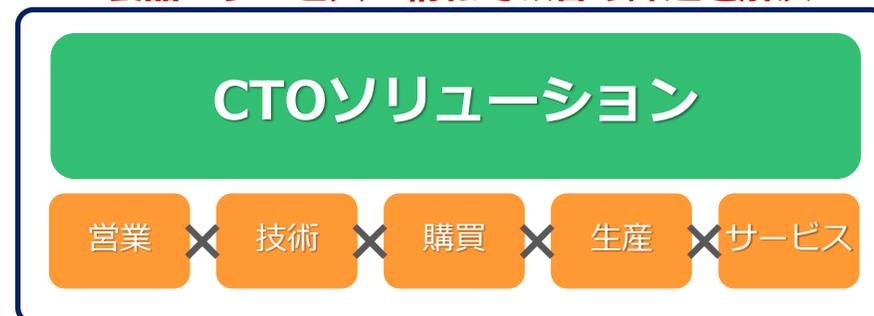
市場ニーズ

多様なニーズ・課題が存在



提供価値

製品・サービス・情報で顧客の課題を解決



現場を知り、開発者の「想い」を実現する最適な製品をスピーディーに提供

原動力

業界知識の深耕

- 顧客ニーズの本質を理解し、価値を共創
- 技術・販売パートナーとのエコシステム構築、連携強化
- 製品・サービス企画力、ソリューション営業力の強化

組み合わせ技術で顧客の開発を加速

- 自社中核技術の組み合わせ技術を強化
 - ・ AIプロセッサ、FPGA等の互換性
 - ・ 拡張インターフェース、通信モジュールの互換性
- フィッティング コンサルティング サービス (FCS) の充実

ネットワーク技術の適用

- 5G通信やWi-Fi6等の新無線通信への対応
- 高速・大容量通信への対応
- リモートモニタリングへの対応

Smart Factory
製造・検査装置

Edge IoT
センシング機器

Edge AI
AI搭載システム

独自の組み合わせ技術

最新デバイスをいち早く評価し、
顧客ニーズ・課題に対応

Intel
X86
AMD
Arm

GPU/FPGA
アクセラレータ
AIプロセッサ

拡張デバイス

コンピュータ技術

高速通信
10GbE
InfiniBand

次世代無線技術
5G通信
Wi-Fi6等

ネットワーク技術

高負荷に耐える筐体設計・熱設計・防塵防水設計

産業用コンピュータに求められる安定性・信頼性

顧客と価値を共創

生産性と高品質を両立する、柔軟かつ強靱な基盤強化

事業基盤

工場の進化

- 2024年までにスペースの効率化含め生産能力を1.5倍向上
- 高生産性を実現する画像検査、AI、デジタル技術を実装
 - ・生産設備刷新、増強
- 工場拡張・新設の検討

DX推進・業務プロセス改革

- 業務の共通化と標準化の推進
- 業務支援ツール開発、RPA導入
- 部材調達ルートが多様化
- chemSHERPAへの取り組み推進、輸出認証取得の取り組み

生産技術・QCD※の追求

- ライン生産とセル生産方式のハイブリッドによる生産効率向上
 - ・新たな工法・つくり方を導入
- 製品への要求仕様、需要の変動に対応する生産体制
- 最新デバイス、ネットワーク技術への検査と品質保証への対応
- もの作り人材の教育、非効率業務の改善、安定供給の追求

※ QCD : Quality (品質)、Cost (コスト)、Delivery (納期)の頭文字を組み合わせた単語



中核事業を支える 重点施策

II

III

IV

V



II 持続的成長を支える
人財育成・人財採用

IV 強靱でしなやかな
経営基盤の強化

デジタルトランスフォーメーション



III 中核事業で培った
資産で新規事業の創出

V 海外進出と推進

II 人財育成・人財採用

- 教育、スキルアッププログラムの充実
- 中長期的なキャリア形成の支援
- 積極的な専門分野の人財採用
- 2021年比で人財を1.2倍から1.5倍へ増強

III 新規事業の創出

- 事業の創造に継続的に挑戦し、新たな収益の柱を創出
- 中核事業のシナジーを活かした機械学習・AI領域の事業創出
- 業務提携を拡大・推進し、新規事業を創出

IV 経営基盤の強化

- DX推進、業務ツール開発、RPA導入
- マーケティングツール開発、運用
- 開発設備、生産設備投資
- ファブレスと自社生産のハイブリッド体制強化

V 海外進出と推進

- 計算化学分野でパートナーとの連携による欧米マーケティング
- ベトナム拠点強化、実績と認知度を向上
- 台湾拠点の機能強化
- 中国市場の開拓

Vision2024、将来の成長に繋げるべく、積極的な投資姿勢

株主還元

- 当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、中長期の経営視点から獲得した資金は、事業発展につなげる成長投資のために、適正な内部留保を確保しつつ、業績、財務の健全性、手元資金や株価水準等を総合的に勘案したうえで、自己株式の取得を機動的に実施

成長投資

3年間の累計額

10億円上限※

※成長投資資金は、自己資金および間接金融により調達
今後の市況、業績の見通しによって柔軟に対応

I 中核事業の研究開発

- HPC-AIプラットフォーム、サイエンスクラウド開発
- マテリアルズ・インフォマティクスソフトウェア開発
- グリーンコンピューティング：液浸冷却等の冷却技術研究
- 高性能化・拡張性・次世代通信技術対応の開発
- 知財化投資

II 人財育成と人財採用

- 営業活動プロセス全般におけるスキル向上
- 各種技術スキルアップ習得、学位取得支援
- 積極的な専門分野の人財採用
- グローバル人財の採用

III 新規事業の創出

- 実験と計算科学、データ駆動型科学を融合する事業

IV 経営基盤の強化

- DX推進のための業務ツール導入、自社開発
- マーケティングツール開発
- 生産性・品質向上のための開発設備、生産設備投資

V 海外進出と推進

- 計算化学分野における欧米マーケティング
- 台湾拠点強化、ベトナム拠点強化

中期経営計画 Vision2024

2030年までに達成したい姿を実現するための重要な通過点と位置付け

	2021年6月期	2017年6月期比	2024年6月期	2021年6月期比
	実績	CAGR	目標	CAGR
売上高	58億円	10.6%	100億円	19.7%
HPC事業	39億円	9.6%	70億円	21.0%
CTO事業	18億円	12.7%	30億円	17.0%
営業利益	6.7億円	29.0%	12.8億円	23.8%
HPC事業	4.9億円	34.4%	9.6億円	24.9%
CTO事業	1.8億円	18.6%	3.2億円	20.9%
営業利益率	11.6%		12.8%	
売上高・営業利益（前年比）	2桁成長		2桁成長	
株主資本利益率 (ROE)	28.1%		26%	

- 成長性指標 売上高成長率を2021年6月期比でCAGR19.7%を設定
- 収益性指標 営業利益率2021年6月期11.6%を2024年6月期に12.8%
- 資本効率性指標 中期経営計画期間のROE25%以上と高い水準維持

【進捗状況等の開示について】
 想定を大幅に超えるような進捗上の変化がある場合を除き、当該資料に記載した経営指標および各施策の進捗状況を含む最新の内容に関する開示は、通期決算発表時に行うことを予定しております。

■ 2022年6月期通期（2021年7月1日～2022年6月30日）業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2022年6月期通期 業績予想	百万円 6,425	百万円 745	百万円 741	百万円 496	円 銭 119.52
前期実績 (2021年6月期)	5,828	676	665	447	107.87
対前年 増減率 (%)	10.2	10.2	11.3	11.0	-

サステナビリティ の考え方と取り組み



持続可能な社会の実現に向けて、ビジョナリー経営を中核にESGを推進

Environment



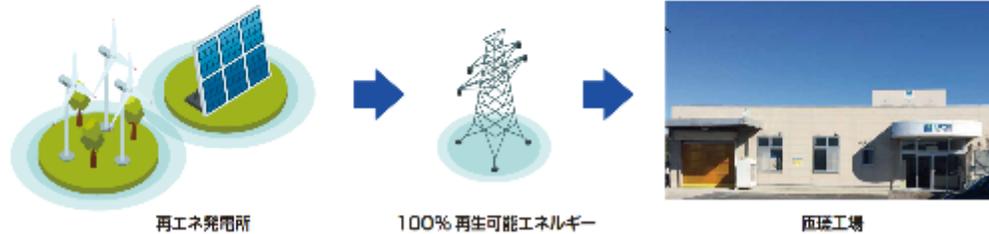
環境

TCFD

TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

工場の電力を100%再生可能エネルギー化

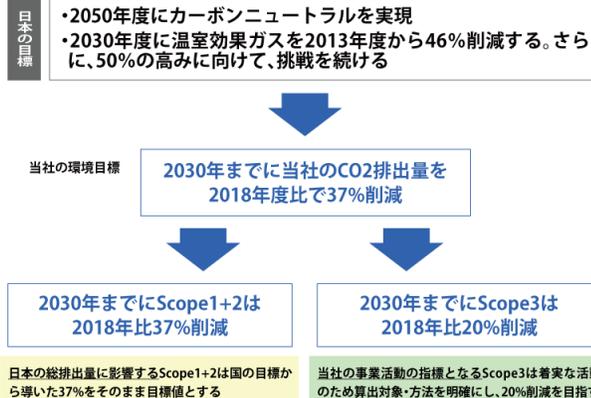
匠捷工場の100%再生可能エネルギー化により、年間約74トンのCO2排出量削減が見込め、当社 全体で約20%のCO2排出量削減(2018年比)を実現。



当社の『TCFDに則ったシナリオ分析』および『環境活動』の実施手順

気候変動リスク・機会とインパクト、マテリアリティ分析・決定、シナリオ群の定義、事業インパクト評価と対応策の決定、環境目標

<https://www.hpc.co.jp/climate-change-adapt/>



Governance



企業統治

- 理念に基づく公正・透明な経営
- 積極的な情報開示
- ガバナンス強化の課題・目標設置

Social



社会

事業を通じて、ダイバーシティを推進し、優秀な人材の確保や「技術を育て、人を育てる」ことに努め、従業員や社会から選ばれる企業になることを目指す

- 研究に従事する研究者への研究助成
- 学生への奨学助成
- 定職をもたないシニア研究者を対象とする研究助成制度

コンピュータサイエンスを基軸に 人とコンピューティングの力で世界平和に貢献する 世界を代表する21世紀のビジョナリーカンパニーへ

不確実な時代でも、時代を超えて生き続け
世界に必要とされる持続可能な企業を目指します

リスク情報：認識するリスク、リスク対応策

認識する主なリスク	概要	発生の可能性／時期	顕在化した場合の影響度	対応策
景気動向及び産業動向の変動による影響	HPC事業は大学官公庁や企業等に科学技術計算用コンピュータを販売しておりますが、顧客の研究開発投資需要等に影響を受けます。また、CTO事業が販売する産業用コンピュータは顧客の設備投資需要等に影響を受けます。 そのため、経済情勢の変化に伴い事業環境が悪化し、顧客企業の業績へ悪影響を及ぼした場合、顧客の研究開発に関する投資計画や、設備投資に関する投資計画が縮小し、両事業の売上が減少するなど当社の事業及び業績に影響を与える可能性があります。	中／不明	大	学術から企業の最先端研究開発に及ぶ幅広い分野の顧客基盤の維持、拡大
特定仕入先への依存	当社のHPC事業の主要仕入先は、米国のSuper Micro Computer, Inc.であります。同社とは代理店契約を締結し、当該契約に基づき安定供給を受けているものの、同社の技術水準の相対的低下に伴う商品力低下等、取引関係が継続困難になった場合には、受注に対する仕入に関し、代替先を探すこととなります。代替候補は存在するものの、必要な数量の確保、納期調整、仕入コストの増加等への対応にかかる時間コストが発生する可能性があります。当社の事業及び業績に影響を与える可能性があります。	低／不明	中	仕入先の分散化および更なる新規仕入先の開拓
部品の調達	当社のビジネスにおいて、十分な品質の部品等をタイムリー且つ必要数量入手する事は不可欠であります。急激な部品価格の高騰（例えばメモリー等）や供給不足等が発生した場合、原価上昇リスクや部品確保が困難となり製品出荷の遅延リスクが生じることがあり、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	高／中長期	大	可能な限りの先行発注および調達ルート拡充
業績の編重	当社の販売動向には季節変動があります。 科学技術計算用コンピュータの主要顧客は、大学官公庁又は大企業であり、受注が急増する年度末の1月～3月に売上高及び営業利益が集中する傾向にあります。従いまして、四半期会計期間毎の業績について、第3四半期会計期間の比重が高くなる傾向にあります。	高／短期	小	顧客基盤の更なる多様化

※その他のリスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

お問い合わせ先

HPCシステムズ株式会社



: <https://ir.hpc.co.jp/inquiry/>



コーポレートサイト : <http://www.hpc.co.jp>



IR情報 : <https://ir.hpc.co.jp/>